

ytv JUMP PARK 2026

活動報告



～跳ぶ人も、応援する人も！みんなの熱が集まる「走高跳の祭典」へ～

イベント名 : ytv JUMP PARK sponsored by SENKO

開催日時 : 2026 年 10 月 11 日 (日) 10:00~16:00 ※天候 : 28 度 晴れ

開催場所 : 読売テレビ本社内 (10plaza/2 階)、読売テレビ本社周辺 (社屋外周)
大阪府大阪市中央区城見 1-3-50



公式 HP

◆ 主催・共催・協賛・協力

主 催 : 読売テレビ (あすリートチャンネル)

共 催 : Jump Festival

スポンサー : 非破壊検査

特別協賛 : SENKO

配信協賛 : マンダム、のむシリカ、山陽特殊製鋼、佐竹食品

協 力 : RIUKJO JAPAN(日本陸連)

◆ タイムテーブル

10:00- ジャンプクリニック(小・中学生対象 事前申し込み制)

11:00- 関西高校生ジャンプ No.1 決定戦(女子の部)

12:00- スペシャルトークショー 高橋 渚×坂井 宏和×津田シェリアイ

12:30- 関西高校生ジャンプ No.1 決定戦(男子の部)

14:00- 【ゲスト】ジャンプチャレンジ

14:40- 関西トップジャンパー頂上決戦 実業団 vs 大学生対校(女子の部)

15:15- 関西トップジャンパー頂上決戦 実業団 vs 大学生対校(男子の部)

◆ 内容

① 走り高跳びエキシビジョンマッチ

② オリンピアンによるジャンプクリニック

③ 走り高跳び体験

④ 【ゲスト】ジャンプチャレンジ 『テッパン朝ライブ じゅーっと!』から西山アナ & 増田アナが参戦!

⑤ 部活ヘア (マンダム)

◆ 走り高跳びエキシビジョンマッチ優勝者 ※勝敗がついた高さで終了。次の高さは行わず。

・高校女子の部 小峠 今日花選手 (草津東高校) 1m70

・高校男子の部 山田 陽選手 (咲くやこの花高校) 2m05

・実業団 vs 大学生女子の部 渡川 和華選手 (ニチレク) 1m75

・実業団 vs 大学生男子の部 荻野 海翔選手 (VERTEX) 2m10

◆ アーカイブ動画

あすリートチャンネル <https://www.youtube.com/watch?v=sRT2IR0wlIc&t=2781s>



◆ リザルト (非公認記録)



【女子の部】

関西高校生ジャンプNo.1決定戦

世界記録(WR)	2m10	Y. マフチク	(ウクライナ)	2024
日本記録(NR)	1m96	今井 美希	(ミズノ)	2001

日時：2026年10月11日 11:10-12:30
会場：読売テレビ 10plaza特設ピット

[illegible]

MIP



【男子の部】

関西高校生ジャンプNo.1決定戦

世界記録(WR)	2m45	J. ソトマヨル	(キューバ)	1993
日本記録(NR)	2m35 (i)	戸邊 直人	(つくばツインピークス)	2019

日時：2026年10月11日 12:55-14:15
会場：読売テレビ 10plaza特設ピット

[illegible]

日時：2026年10月11日 14:40-15:30
会場：読売テレビ 10plaza特設ビット

[illegible]

日時：2026年10月11日 15:40-16:15
会場：読売テレビ 10plaza特設ピット

[illegible]

<会場準備>

テレビ局での初開催に向け、走高跳ピットの設営や受付の準備を開始しました。私たちが会場に到着した時には、すでに読売テレビのスタッフがライブ配信の準備を進めてくださっており、頭が下がる思いでした。目印を置き、高重量のオールウェザーマットを、大人数で並べました。選手の安全が第一のため、オールウェザーマットに隙間がないか、観客席との距離は近すぎないか、など、細心の注意を払いました。ピットが完成した後、スタッフの最終打ち合わせを行い、ジャンプクリニックのスタンバイ。今日一日、よろしくお願いします！！



<ジャンプクリニック>

大阪や兵庫などから、14 人の方が参加してくださり、講師は衛藤、高橋選手坂井選手が務めました。参加者は両足ジャンプやミニハードルを使った踏切練習、走高跳の跳躍練習を行い、一人ひとり丁寧にアドバイスが送られました。手拍子を求めて会場の雰囲気を楽しんでいる様子が印象的でした。クリニック参加者へは、津田選手より銀だこ無料券がプレゼントされました。

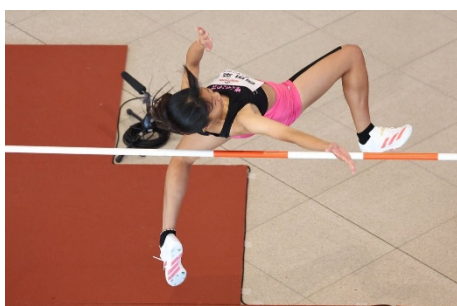
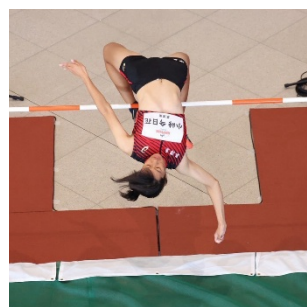




<高校生女子の部>

大会に先駆け、開会式が行われ、高校の部に出場する選手がピットに集まりました。読売テレビスポーツ局、西川局長とジャンプフェスティバル、衛藤の挨拶のあと、ついに高校女子の部が開始しました。

一人目から手拍子の後押しのもと、熱戦が始まりました。最初の高さである1m50は全員がクリアし、1m55に進みました。跳んだあとはリプレイ映像が流れ、津田選手、高橋選手が解説するという贅沢な試合進行でした。1m65を5人の選手がクリアし、1m70を跳べば優勝がグッと近づくという状況の中、3本目で小峠選手が見事クリア！しかも自己記録の1m68を超える高さということで、会場は大いに沸きました。解説からは一本ごとに修正していく力を褒められ、優勝者インタビューでは「今年は全国インターハイに出場できませんでしたが、来年は出場、再来年は優勝を目指したい」とコメントしました。



<高校生男子の部>

続いて高校男子の部は、坂井選手の解説とともに試合が進みました。1m80 から始まり、1m90 まで全員がクリアしていきました。その後は、山田選手と金城選手の一騎打ち。女子と同様、優勝した山田選手は、自己記録を超える高さ、2m05 をクリアしました。「試合で手拍子をする事ができないので、こういう場だからやってみようと思い、うまくいったので良かったです。自己ベストの高さを跳ぶことができてめちゃくちゃ嬉しいです。」と、応援を力に変える強さにあっぱれでした。



<スペシャルトークショー>

津田選手、高橋選手、坂井選手のトークショーでは、西尾アナウンサーが 3 人にいろんな質問を投げかけました。試合の時の気持ちの持ち方、走高跳の楽しさ、難しさ、試合で大事なこと、記録を向上させるためには？など、トップアスリートがどんなことを考えているかを知れる貴重な機会でした。そして、考えを言語化することが上手で、みんなにわかりやすくお話してくださっていたことが印象的でした。



<ゲストジャンプ>

『テッパン朝ライブ じゅーと！』の西山アナ、増田アナ、ねぼビーが走り高跳びピットに登場！しかし、番組宣伝は「バーをクリアできたら」という条件付き。まずは ytv スタッフが見本でジャンプ！1m40 のバーをふわりと越えていき、拍手が送られました。（大学時代、十種競技をしていたそうです！）その後、西山アナがスタート地点につき、手拍子をリクエスト。高さは『じゅーと！』にかけて 1m10。観客が見守る中、両足でジャンプ！高さ十分で見事クリアしました！（クリアしたご本人はビックリ顔！）増田アナは片足で無事にクリアし、番宣の権利をゲット。番組の紹介とステッカーを配布し、観客の写真撮影にも快く応じてくださりました。



<実業団・学生対校>

実業団・学生対校は特別ルールで行われました。一番高い高さを跳んだ選手が勝ちのルールは普段と変わらず、対抗得点は「1 回目で跳んだら 50 点、2 回目で跳んだら 30 点、3 回目で跳んだら 0 点」というルールのもと、実業団チームと学生チームで競いました。

女子の部では、序盤は 1 回目のクリアが続き、両チーム得点を積み重ねていきました。高さがあがっていくにつれて緊張感も高まっていき、クリアした際は、チーム同士でハイタッチする姿も見られました。1m75 をクリアした選手が渡川さんのみになったため、ここで試合終了。1m80 以上跳べそうな調子の良さがうかがえました。

男子の部では、実業団チームがパスを仕掛けたりと揺さぶりがあり、見ごたえがありました。だれが勝つかかわらない試合展開で、最後は荻野選手が 2m10 をクリアし、優勝を決めました。男女の合計は、実業団は 710 点、大学生が 640 点で、実業団チームが勝利を収めました。





＜走り高跳び体験コーナー＞

テレビ局前に設けた体験コーナーでは、子どもから大人まで、「跳んでみたい！」という方がチャレンジしました。「昔はめっちゃ跳べたんやけどなあ」とつぶやきながら懐かしのベリーロールで跳ぶ年配の方や、「もう一回！」と何度も跳ぶ子供、観光に来られた海外の方など、いろんな方が思い思いの跳び方で、ジャンプを楽しんでいました。参加者には「飲むシリカ」がプレゼントされ、「水もらえるなら跳びたい！」と水欲しさに参加してくださる方もいらっしゃいました。



<スタッフ>

初めての会場でのイベントでしたが、スタッフがそれぞれの持ち場で尽力してくださったおかげで、無事に終えることができました。走り高跳びのイベントですが、長距離や短距離、投擲など、種目をしていた方も、運営にたずさわってくださっています。イベントを支える方も、楽しんでもらえるイベントを、これからも目指していきます。

また、今回 MC を務めてくださった、たつをさん。流れるようなトーク、時には爆笑を誘うユーモアさなど、大いにイベントを盛り上げてくださりました。音楽や効果音を用いて会場の雰囲気を作り、プロの技に感動しました。



<閉会式>

高校女子選手には高橋選手より、高校男子選手には読売テレビ放送スポーツ局の中西局次長より、あすリートチャンネル特製のクリスタルが贈呈されました。また、勝利した実業団チームには、読売テレビ放送スポーツ局西川局長より記念品が贈呈されました。MIP(最も印象に残った選手)には、高校女子の部で優勝した小峠選手が選出され、津田選手より記念品が贈呈されました。試合後、マンダム様が高校生に、「自分らしさを応援したい」と取り組まれている“部活ヘア”を実施してくださりました。





===== SPECIAL THANKS =====

非破壊検査

オフィシャルパートナー

SENKO

特別協賛



配信協賛



配信協賛



配信協賛



配信協賛



協力



主催



共催



ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました！